

## “タコの街” 茨城県ひたちなか市の老舗企業、 インドネシアの水産加工技術向上を後押し

### ～50年来の蒸し技術で、“柔らかい蛸”を世界の食卓へ～

国際協力機構（JICA）は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」において、茨城県ひたちなか市の株式会社あ印（代表取締役 鯉沼勝久）による、「有効利用されていない縞タコの加工・衛生管理技術と加工製品の普及・実証事業」を採択しました。

インドネシアはアセアン随一の水産資源を有しながら、水産加工技術の遅れから原料供給国の地位にとどまり、また、国内でも水産業が主要産業の地方と都市との経済格差が拡大していることから水産資源活用・高付加価値製品加工が経済成長のための課題となっています。

あ印の蛸を柔らかくする独自の技術と衛生管理技術の普及で、表皮が固く有効利用されていなかった縞タコの付加価値化が図られ、インドネシアの輸出増加、地元水産加工業の振興に繋がるとともに同事業を通じて、ひたちなか市の活性化にも貢献することが期待されます。



今回の事業ではタコ加工技術の移転、高付加価値水産加工品の開発、国内外での販売流通について、その可能性や課題、現地適合性を調査し、今後の事業展開に向けた検討を行います。

なお、普及・実証事業は、我が国の中小企業等からの提案に基づき、途上国の開発課題の解決に有効に活用できるポテンシャルを有する製品・技術等の現地適合性を高めるための実証活動の実施および普及方法を検討することを目的とした「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」として2012年度から実施されています。2014年度補正予算分は本年3月に公示を行いました。45件の応募のうち14件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから順次事業を実施しますが、同社は本事業で採択された茨城県企業の第一号となります。

参考：(プレスリリース) 普及・実証事業 2014年度補正予算公示分の採択結果について

URL: [http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716\\_02.html](http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_02.html)

#### 【本件に関する問い合わせ先】

筑波国際センター研修業務・市民参加協力課 担当：小峯

TEL: 029-838-1117 E-mail: [jicatbic@jica.go.jp](mailto:jicatbic@jica.go.jp)

**PRESS RELEASE**



独立行政法人国際協力機構  
筑波国際センター  
2015年7月16日

---